



ATガイド海外派遣研修実績報告

知床アルパ株式会社 笠井 文考



About us

知床国立公園
阿寒摩周国立公園

笠井 文考

知床アルパ株式会社 代表取締役

北海道アウトドア資格

・自然 / 山岳夏山 / 山岳冬山

(公社) 日本山岳ガイド協会

・登山ガイドステージⅡ / スキーガイドステージⅠ

(一社) 日本セーフティパドリング協会

・ベーシックインストラクター カヤック / SUP

ファーストエイド

・WAF A (2023)

・上級救命(2024)





研修先：SWEDEN

目的

- 現在実施しているツアーの磨き上げと安全管理の見直し
「スノーシュー」「野生動物観察」「流氷カヤック®」
- 冬の新規ツアー造成 短時間の「雪遊び」から、ATを視野に入れた「WINTER ACTIVITY」へ
「バックカントリー」「文化、歴史、先住民族」

選定理由

- 北欧では最多の観光客入込数約2,000万人（出典：UN TOURISM）
 - 北米と並ぶWINTER ACTIVITYの本場、世界的なアウトドアブランド
-



ABISKO

滞在期間 12/18-26 (KIRUNA)

① アイスクライミング

-ABISKO ADVENTURE

- ・アイスクライミングにおける安全・危機管理の習得

② スノーシュー

-ACTIVITIES IN ABISKO

- ・スノーシューツアー企画立案の磨き上げ

STOCKHOLM

滞在期間 12/26-1/2

③ 冬のカヤック

-SKÄRGÅRDENS KANOTCENTER

- ・厳冬期におけるパドルスポーツの安全管理

④ スウェーデンにおけるオオカミと野生動物の追跡

-TRUE NATURE SWEDEN

- ・野生動物との遭遇機会の創出

2024.12.18到着

Stockholm Lat.60

Temp. 4°C



Kiruna Lat.67

Temp. -6°C





基本情報

- ・ 極夜のため、特にキルナでの日中は9:00-14:00くらいまで、日中でも薄日で車のライトは点灯する
- ・ 食品はスーパーで購入する商品には割高感なく、特にパンと乳製品とサーモン（魚）は日本より安い
- ・ 外食は消費税が高い（25%！）。座るとファストフードでもひとり2,000円超え
- ・ 公共交通機関は安いがタクシーは高い（使わず）
- ・ 市中の案内看板（地図）が少ない。美しい街並みの景観保護に寄与しているが、ストックホルムでは不便を感じた







REINDEER
 For reindeer owners, the time has come to slaughter bulls. The end of September sees the rutting - pairing season. The strongest bulls get to rut with the largest number of reindeer cows. After rutting they fell their horns and lose all status.



TID FÖR LEK
 När vattnet blir kallare leker bing och röding. Öringen leker och lägger sin rotti i bäckens och älvens strommar. Vatten ködningen leker på steniga botten i sjöarna.



TIME FOR SPAWNING
 Once the water grows colder, trout and char start to spawn. The trout spawns and lays its rotti in the flowing water of streams and rivers. The char spawns on stony lake bottoms.



LINGON
 COWBERRY

FJÄLLENS BÄR
 Hösten är tid för björnar, fåglar och för oss människor att söka läckra bär. Vi har ungfälar, samma smak, särskilt blåbär och lingon är vi alla på jakt efter. Björnen äter också mängder av kråkbär som finns i trassor på fjällheden. Dägn, hönsbär och rippbär smakar mindre, men ingen av dem är giftiga.

MOUNTAIN BERRIES
 Autumn is a time for bears, birds and people to search for delicious berries. Our tastes are the same. It is especially blueberries and lingonberries we are interested in. The bear abundance on mountain berries, which grow in dwarf birch and Mountain Bearberry have less flavour, but none of them are poisonous.



Abisko Adventure

「認定ガイドによるあらゆるレベル向けのアイスクライミング」

料金 約14,500円/人

- ・北極圏にあるこのエリアの主となるアクティビティはオーロラツアーや犬ぞりツアーとのことだった。このアイスクライミング体験はこうした観光客を対象にした「初めてアイスクライミング」という位置づけであった。アイゼンやアックスをはじめとした道具一式は準備されており、ツアー料金に含まれていた。高額かつ運搬の難しい道具が準備されていることで参加に対するハードルは下がるため、手軽にトライできると感じた。
- ・ガイドは兼業ではなく通年をとおしたヨーロッパの山岳ガイド資格を持つプロガイド、技術能力はもちろん、安全・危機管理能力は十分と感じた。
- ・参加者のレベルがバラバラのため、日によっては予定時間よりも早く終了することがあった。



- ツアー実施地は容易に車でアクセスできる場所であった。あらゆるレベルの顧客をターゲットにしていることから、途中で容易に離団できる環境かつ、危急時に助けを呼びやすい場所を選んでいることを感じた。
- それぞれのアクティビティ（アイスクライミングやスノーシューハイク）を楽しむ好適な環境がいくつもあるため、日本（北海道）のように氷瀑周辺の狭いエリアに人が密集することはないことを感じた。



Activities in Abisko

「荒野のスノーシューハイキング」

料金 約11,000円/人

- ・ツアー地は容易にアクセスできる場所であった。会社やヘリポートが近くにあり、ルートの一部はスノーモービルや犬ぞりのツアーが利用しているなど、緊急時にすみやかな対応ができる場所を選んでいることを感じた。
- ・ガイドの野生動物に関する知識は十分であったが、スノーシュー歩行時の事前説明が不十分だったり、参加者の歩行スピードを把握できず顧客を置いて行ったり、風が当たる寒冷な場所で休憩するなど、顧客に対する配慮不足が見受けられた。
- ・ガイドへインタビューでは、クリスマスシーズンが一番の繁忙期のため、パートタイムのガイドが含まれるとのこと。ワーキングホリデー中のガイドも存在した。



- 動物が特に活動する時間帯をツアー時間とするため、午後から夕方にかけてのツアー催行設定。現地は極夜のため、ツアー中盤からの時間帯はヘッドライトをつけての行動となる。
- アニマルフットプリントトレッキング。フットプリントから動物の生態を解説するツアー。ムースは目撃し、レッドフォックス、ラビット、ライチョウ、イタチの仲間のフットプリントを観察。なお、トナカイとホッキョクギツネはレアとのこと。
- ガイドはブレイク時にホットベリーティーと有名なチョコ菓子をふるまってくれた。これはスウェーデンにおける伝統的なティータイムでフィーカと呼ばれているものである。
- 外国人相手にスマホによる写真と動画を利用した説明は効果的であると感じた。



Skärgårdens Kanotcenter

「冬のカヤック」

料金 約19,000円/人

- ・参加した両日の気温は6°C前後、水温は約5°C。事前説明では、例年この時期は気温が-10°Cまで達する日があると説明された。ガイドからリスクについて聞き取りしたところ、いちばんのリスクは寒冷であるとの回答であった。ツアー地は道路や住宅地に隣接した木立や丘に囲まれた内海のため、波や風の影響は受けづらく、危急時のレスキューについても比較的容易であることが推察された。このことから、装備や体調管理において、寒冷に対する備えに注力を注いでることが理解できた。
- ・参加者のレベルは問わなく、波風に関して難しい環境ではないため、事前のパドルワークは基本のみを徹底していた。



- ・ガイドレシオは1 : 10。10人が同じタイミングでドライスーツに着替えることや、参加者に女性が含まれることから着替え時は女性スタッフ含め3名で対応していた。女性目線からすると、着替えに際し女性スタッフがいることは必要だと感じた。
- ・着用したドライスーツは防水性が保たれているとは言い難く不安を感じたが、フィールドを体験して必要性の薄さを理解した。
- ・北欧のベネチアとの呼び名の通り、水と切り離せない環境にあるストックホルムという町の歴史的背景を含めた解説があったことは深い理解につながった。



True Nature Sweden

①「スウェーデンにおけるオオカミと野生動物の追跡」

②「ワイルドライフサファリ」

料金 ①約27,000円/人 ②約20,000円/人

- ・「専門家」、「プロガイド」とのことで申し込んだが、実際には2日ともパートタイムガイドであった。野生動物、特に哺乳類に注目したツアーだったが、説明に物足りなさを感じるだけでなく、安全やスケジュール管理に疑問が生じるなど、気を遣う時間を過ごした。
- ・参加者のすべてが野生動物や自然環境に強い興味があるわけではないため、ガイドは専門性よりも複数の語学を習得していること、ホスピタリティがあることが優先されていた印象を受けた。
- ・言語に不自由があったとしても、ガイドの技量や知識量は透けてみえることがわかった。



- 野生動物の追跡はストックホルム市街地から車で約1時間の歴史ある自然保護区内、ワイルドサファリは国立公園や自然保護区内で行われた。
- コケモモを採取したり、ハーブの葉を摘んで香りを抽出するなど、体験をさせる工夫が見られた。
- ひとつひとつの解説が長く、重複する部分も多く、モチベーションを維持するのが難しかった。自身がガイドをする側になった時の言葉の選び方や時間配分をどのように使うかについて考えさせられた。
- 2日間とも暗視カメラを使った動物探しが新鮮だった。



自主研修

「BCスキー」

- 当初はスキーを持参し、ガイドツアーに参加することも検討したが、ギアを運搬することがネックとなり諦めた。
- キルナにはBCスキーを扱うプロショップがあり、バックカントリー、サイドカントリーの需要は一定数あることが窺えた。
- キルナやアビスコ近隣のスキー場を視察すると、管理されたゲレンデのみで営業しているところは少なく、旭岳のように自然の地形を解放したスキー場がほとんどであった。
- OTAでは販売していないが、自社サイトではBCツアーを販売しているガイド事業者も存在した。



自主研修

「Nutti Sámi Siida」 サーミ野外博物館 Jukkasjärvi (キルナから約20分)

- サーミはノルウェー、スウェーデン、フィンランド、ロシアの北極圏に住む先住民族。
- 現在、サーミのほとんどが各国家により収奪される以前の土地や伝統的な生活から離れ、都市部で生活したり、遊牧や漁業以外で生計を立てている。また伝統的なサーミの集落に住んでいる人々でさえ、多くはサービス産業で生計を立てている。(参照：<https://globalnewsview.org/archives/13103>)
- ミュージアム内では伝統的なサーミの家やサーミの芸術や習慣の例を含む博物館の展示品を見学した。サーミにとって生活の糧となるトナカイを近くで見ることができた。売店ではサーミの伝統工芸品の説明と販売をおこなっていた。



自主研修

「博物館」 それぞれストックホルム市内

①自然史博物館

②北方民族博物館

- ・自然史博物館は、自然の様々な側面を展示していた。スウェーデンに生息する、もしくは生息していた、マンモス、クジラ、シロクマ、恐竜の他、リス、バット、ヘッジホッグ、オオカミ、クマ、ムースなどが主に剥製と共にわかりやすく紹介されていた。展示には様一な絶滅種もあり、自然科学を十分に学べる施設だった。
- ・スウェーデンの歴史に関しては非常に多種多様な展示があり、フロアには分割された時代 - 初期のスウェーデンの生活に関する多様なテーマについて、昔から現代までわかりやすく展示され、北欧の文化、歴史を知る事ができた。





今後の取組み

-グローバルOTAへの素材提供を積極的に目指したい。外資系オンライン旅行会社（国籍は様々で、営業も国を跨いで数か国で行う）の作るツアーはここ数年、一般のインバウンドツアーでは大きな役割を果たしている。OTAは常にユニークな魅力のあるツアーを求め新たなツアーの造成も着手し始めているために、今後多くのガイドの需要増加が期待される。

-特に今回体験した比較的体力レベルや技術、装備を求められない半日から一日の「WELCOME TOUR」は、参加者がまずはその地域を体験できること、ガイド側もシンプルな英語で対応できる可能性があることから、初級者や一般観光客向けのはじめの一步として必要と思われた。

-一方でこうしたツアーでは物足りない層も存在すると思われるが、今回それぞれの主催会社は、自社のサイトでは中上級者向けのツアーも販売していた。そのため、まずはグローバルOTAへ「WELCOME TOUR」を掲載することは、自社サイトへ顧客を導入できるとも考えられた。

-「特別な体験」や「語学力」を気にするよりも、半日でもその地域を紹介、感じてもらえるようなツアー造成に取り組んでみたい。



今後の取組み

-現地では、基本的にはスウェーデン語での案内であり、英語の表記がない箇所も多くあった。表記があれば翻訳することも可能であるが、公共機関等の案内看板等も少なく、その不案内には惑わされる場面もあった。日本も英語の併表記が増えては来ているものの、導線に沿った案内表記があることは不慣れな来日者にとって安心材料となるのではないかな。

-ツアー選択時、内容はもちろんだが最初に目に入るツアー名は選択の要素として大きな役割を担うことを実感した。ツアー造成の際は、ツアー名にも重きを置く、外国人の意見を聞きながらツアー名を考える、などの対応をすると良いと感じている。

今後の取組み レンタルについて

- ・アイスクライミングでは、ブーツ、アイゼン、アックス、ハーネスがガイド料に含まれ無料レンタルだった。
- ・カヤックでも、ドライスーツ、グローブ、靴下、帽子などの無料レンタルがあった。
- ・強い意志や目的、スポンサーがない限り、国際線に大きく、重いギアを費用をかけてまで運ぶゲストは少ないと思われる。こうしたことから、レンタル品の充実はインバウンド向けツアーにおいて、他社との差別化やゲストへの強いアピールにつながると思われた。



アドベンチャートラベルの推進と共に整理していただきたいこと

1. AT

2. 安易な交通手段

3. 不法就労

- あえて地域のガイド団体などに加盟しない
- 地域の団体から排除されている
- 💀 実態がつかめない 🧛

1. インバウンドにとってガイドの魅力のひとつは「概念やスキル」 < 「便利なこと」
2. 通訳案内士等の公的資格を有する観光ガイドが、ガイドの為に利用者を運送する場合において、運送に対する反対給付がなければ、許可等は必要ありません。 出典：<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001322024.pdf>
3. 現行法上、在留資格の中に「山岳ガイド（BCスキーガイド）」を認めているものではありません。 出典：<https://www.moj.go.jp/isa/applications/status/qaq5.html>